

海況速報（クロロフィル a 分布）

平成 30 年 5 月 17 日

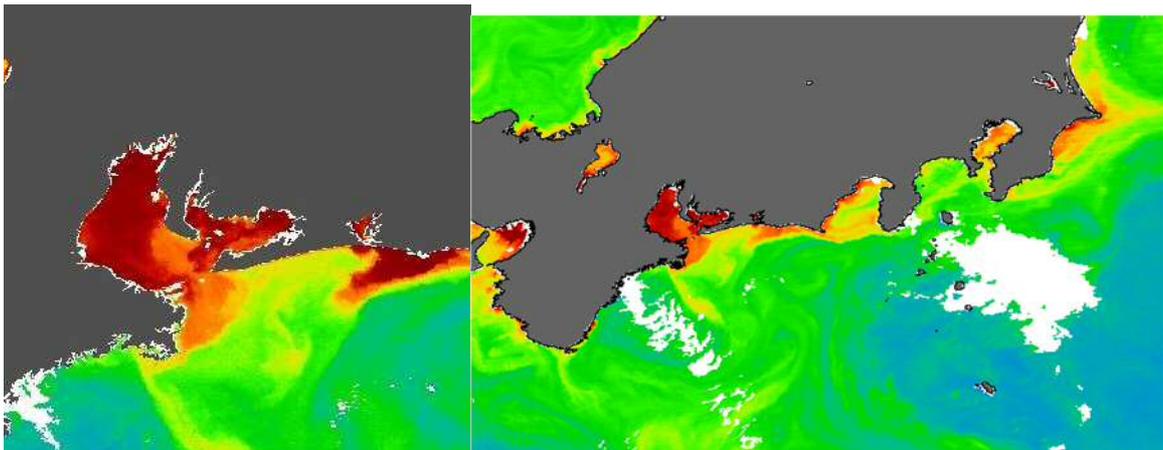
愛知県水産試験場 漁業生産研究所

5 月 15 日の人工衛星クロロフィル a 画像を見ると、クロロフィル a 濃度は伊勢湾、三河湾全域で高くなっています。湾内の濃度が高くなったのは、13 日の降雨による河川水流入の影響を受けたためと考えられます。また、熊野灘沖に時計回りの暖水渦が存在するため、沿岸水が渥美外海に流出しています。

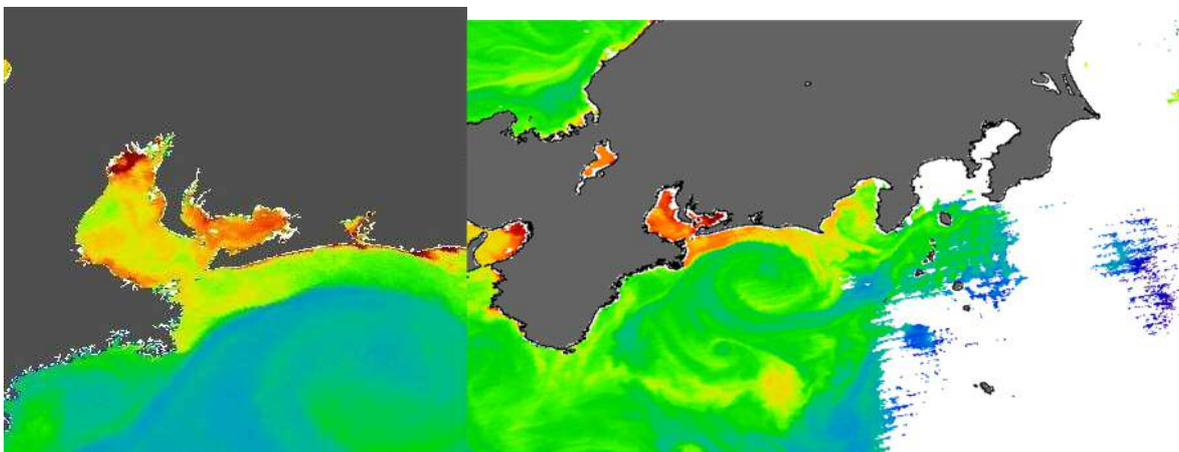
クロロフィル a 濃度の経時変化を見ると、伊勢湾、三河湾、湾口域は 5 月に入ってから上昇傾向にあります。渥美半島沿岸域、渥美外海では大きな変動はあるものの、ほぼ横ばいで推移しています。

(宇宙航空研究開発機構 (JAXA) / 東海大学 (TSIC/TRIC) 提供の MODIS 画像)

5 月 15 日の AQUA によるクロロフィル a 濃度分布



5 月 5 日の AQUA によるクロロフィル a 濃度分布



※画像データによるクロロフィル a 濃度は、実際の濃度と異なる場合があります。

また、詳細図と広域図で内湾域の濃度に誤差が生じることがありますので、目安としてご利用ください。

海況速報（クロロフィル a 濃度の変動）

平成 30 年 5 月 17 日

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

人工衛星 AQUA に搭載された MODIS センサーから得られた表層クロロフィル a 濃度をモニタリングしています。

(5 月 15 日までのデータ)

